

鴨川市地域公共交通会議平成25年度第1回会議 会議録

日時：平成25年8月19日（月）

午後1時30分～2時50分

場所：市役所7階会議室

〔出席委員〕

摘 要	所 属 ・ 職	氏 名
会長	鴨川市 副市長	庄司 政夫
1号委員	社団法人千葉県バス協会 専務理事	花崎 幸一
	小湊鐵道株式会社 常務取締役	久我 義範
	鴨川日東バス株式会社 代表取締役	鈴木 孝男
	有限会社鴨川タクシー 専務取締役	本多 信介
2号委員	鴨川日東バス株式会社互助会	西川 裕治
3号委員	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送監査）	池田 和弘
4号委員	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所長	吉田 良治
	千葉県鴨川警察署 交通課長	藤代 宣明
	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班 副主幹	轟 洋子
5号委員	利用者代表（公募委員）	小高 好宏
	利用者代表	手塚 治代
	利用者代表	里見 桂子
	鴨川市中心身障害者福祉作業所 所長	渡辺 栄一

〔欠席委員〕

摘 要	所 属 ・ 職	氏 名
5号委員	鴨川市校長会 校長	滝口 弘

〔事務局〕

所 属 ・ 職	氏 名
鴨川市企画政策課 課長補佐	大久保 孝雄
鴨川市企画政策課 係長	藤代 公貴
鴨川市企画政策課 政策推進係 主任主事	町田 啓

[資料]

- ・次第
 - ・席次表
 - ・出席者名簿
 - ・資料18 鴨川市コミュニティバス 平成24年度の運行結果について
 - ・資料19 南ルート及び清澄ルートにおける見直し後の運行実績について
 - ・資料20 北ルートのダイヤ改正について
 - ・鴨川市地域公共交通会議 平成24年度第3回会議 会議録
-

1 開会（午後1時30分） 司会 企画政策課長補佐 大久保

- ・配布資料の確認
- ・欠席者の報告
- ・新会長並びに新規委嘱委員2名（吉田委員及び轟委員）の紹介

2 会長あいさつ

（要旨）

ご多用の中、また猛暑厳しき折、ご出席いただき感謝する。

今回会議から、前副市長に代わり本会議の会長職を務めさせていただくので、よろしくお願ひ申し上げます。

これまで、南ルートの運行経路の変更及びダイヤ改正、そして、清澄ルートでの一部デマンド運行の導入といった事項について協議いただいていたが、本日は、残る北ルートの見直しについて協議いただく予定としている。

今後、急速に高齢化が進行することが見込まれる中、生活交通の確保・維持は本市の極めて重要な課題のひとつと認識している。

関係者・利用者との協働・連携のもと、より利便性が高く、効率的な公共交通の実現に向けて取り組んでいきたいと考えているので、引き続き忌憚のないご意見・ご提言をお願いしたい。

3 議事 議長 庄司会長

鴨川市地域公共交通会議設置要綱第5条第1項の規定により会長を議長として進行。

議事録署名人として、里見委員を指名。

議事1 鴨川市コミュニティバス 平成24年度の運行結果について

事務局から、資料18に即して報告。

委員等からの発言については、次のとおり。

（轟委員）

北ルートの利用者が大幅に増えているが、この要因としてはどのように考えているか。

(事務局 町田)

清澄ルートが毎年減少の傾向にあるのと対照的に、北ルートについては路線開設以来、一貫して増加傾向にある。

この路線については、沿線人口が比較的多いことに加え、JR駅や大きな病院など、人の往来が多い区域を運行していることから、バスの存在や利用方法に関する周知が進むにつれて、利用者数も増えてきているものと考えている。

(轟委員)

確認だが、沿線人口が増加したということではなく、周知が図られた結果という理解でよいか。

(事務局 町田)

今手元に詳細な数字の持ち合わせはないが、前回の国勢調査の結果によると、沿線の天津地区と小湊地区では減少となっている。同じく沿線の東条地区では若干の増加が見られるものの、利用の中心となる亀田病院やJR駅との距離も近いことから、利用者が増加した主な理由としては、人口の増加というより周知の伸展ということが妥当であろうと考えている。

議事2 南ルート及び清澄ルートにおける見直し後の運行実績について

事務局から、資料19に即して報告。

委員等からの発言については、次のとおり。

(池田委員)

清澄ルートについて2点お尋ねしたい。

まず1点目として、同ルートの見直しに当たっては学童の送迎が関係していたと記憶しているが、そのより詳しい経過について。

2点目として、沿線人口の減少が進んでいるという説明があったが、詳しい数値について、それぞれお教え願いたい。

(事務局 大久保)

4月1日現在で10名に乗車証を発行しているが、運行実績として把握している数値の中では、学童という属性を特定できる情報がないため、ご了承願いたい。

なお、沿線人口については、年々減少傾向にあるが、同じく4月1日現在で見ると、清澄地区と四方木地区の合計で約150名となっている。

(轟委員)

4月1日から清澄ルートでデマンド運行を実施しているが、把握している利用者側の声があればお聞かせ願いたい。

(事務局 町田)

デマンド運行開始以降、運行事業者である鴨川日東バス又は市企画政策課のいずれにも、利用に関する苦情等が寄せられた例はないが、実態把握のために、デマンド運行による影響が特に大

きい四方木地区の町内会長さんに確認をしたところ、バス利用に関する苦情等は耳にしておらず、経過は順調と認識しているとのことであった。

議事3 北ルートダイヤ改正について

事務局から、資料20に即して説明。資料のとおり承認された。

委員等からの発言については、次のとおり。

(渡辺委員)

福祉作業所の通所者でも4名が北ルートを利用しているが、事務局からも事前に相談をいただき、この変更案で支障がないことを確認しているのので、報告させていただく。

(里見委員)

平成23年度中の会議で提案した事項だが、イオンでの買い物等を目的とする利用者のバス停までの移動距離とバス待ち時間中の風雨の影響の低減に配慮して、イオン出入口付近に新たに停留所を設けることはできないか。

(事務局 町田)

運行経路に面しているイオンの出入口については、いずれも交差点付近となっている。

停留所の設置箇所については、地元警察との協議が必要となるが、例えば南ルートに新設した「曾呂十字路」停留所については、道路交通における安全性の確保という観点から、交差点から相当距離をおいて設置することを指導されている。

こうしたことから、イオン出入口付近への停留所の新設は難しいものと考えている。

(手塚委員)

高齢者のことを考えれば何とかしたいという気持ちもある。しかし、イオン出入口付近に一般車が停車していることがあるが、こうした場合に車を運転していて大きな不便を感じるのも実感しており、バスの停車は実際には難しいのではないかと考える。

(事務局 大久保)

運行経路中にはフリー乗降可として設定している区間もあるが、これについてもバスの停車に起因する事故防止の観点から、交通量が比較的少ない区間に限定しているため、フリー乗降での対応も困難と考えられる。

なお、現在の鴨川駅西口のコミュニティバス停留所には雨除けのシェルターが設置されているので、申し添えさせていただく。

(轟委員)

ダイヤ改正について、今回は、コミュニティバスと鴨川日東バス市内線の両方が同時に改正となるが、市が周知のために発信する情報は、コミュニティバスに関する事項のみとなるか。

(事務局 町田)

市民の目線に立てば路線開設者の相違は特に重要でないことから、市が発信する周知の情報としては、例えばホームページであれば鴨川日東バスへのリンクを設け、周知文の中でも鴨川日東バス市内線のダイヤ改正に触れるなどの配慮を行った上で、チラシの配布や停留所等への注意表示の掲示も実施していきたいと考えている。

(鈴木委員)

当社の市内線のダイヤ改正案については、千葉県バス対策地域協議会の安房分科会での審議を踏まえたものとなる。

減便により利用者の皆様には不便をおかけする一方で、約3万3千キロメートルの運行距離の効率化を図ることで国県補助の受領が可能となり、路線自体の維持確保の目途が立つこととなった。

今後、事務局から説明があったとおり市コミュニティバスとの運行時間帯での住み分けにも配慮しながら、相互連携的に公共交通の確保を図っていきたい。

なお、この会議で了承が得られた暁には、8月下旬に千葉運輸支局へダイヤ改正のための所要の届出を行うことで予定している。

議事4 その他

現委員の任期が平成25年10月18日を以て満了となることを踏まえ、今後、これまで本会議での協議を経て実施となったコミュニティバスの運行見直しのフォローアップを行っていくためとして、庄司会長から委員全員の再任について依頼。了承された。

また、次回会議の開催時期について、年度内を予定しており、日程が固まり次第改めて通知する旨を事務局から報告。

4 閉会（午後2時50分）

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により会議録の内容について確認します。

平成25年10月2日

里見 桂子